社会医療法人近森会

ひろっぱ 2

Vol.319

発行
2013年1月25日

www.chikamori.com ● 高知県高知市大川筋一丁目1－16 〒780－8522 tel. 088－822－5231 発行者 ● 近森正幸 ／ 事務局 ● 川添昇

社会福祉法人 ファミーユ高知 新規事業を加え新たなスタート

高知ハビリテーリングセンター
センター長　上田　真弓

▶近森会グループでの社会福祉法人ファミーユ高知がスタートし、6年が経ちました。▶地域での生活や就業のためのトレーニングを行ない、就労支援事業所では職能訓練や就業支援を通じて、社会復帰を目指しています。▶病院（医療）と、地域とのつなぎ役として社会福祉法人が機能することを願い、あくまで社会への「通過点」として、常に新しい機能を取り入れ、前進しています。▶今年の4月からは、高知ハビリテーリングセンターに「放課後等デイサービス」、「特定・一般・障害児相談支援事業所」が、障害者福祉サービスセンターウェーブに「特定相談支援事業所」が新たに立ち上がり、よりニーズに沿った施設になります。

ファミーユ高知の施設図

- 社会福祉法人 ファミーユ高知
  - 高知ハビリテーリングセンター
    - 障害者支援施設
      - 施設入所支援●
        短期入所支援
      - 生活介護
      - 自立訓練（機能・生活）●
    - 就労支援事業所
      - 就労移行支援●（一般企業への就労希望者対象）
      - アルベーテ北本町
      - 就労継続支援B型●（一般企業への就労が困難な方）
    - はるのハビリホーム
    - 高次脳機能障害相談支援センター
    - 放課後等デイサービス
    - 特定・一般・障害児相談支援事業所
  - 障害者福祉サービスセンター ウェーブ
    - 就労支援事業所●
    - 特定相談支援事業所
    - グループホーム ポルト

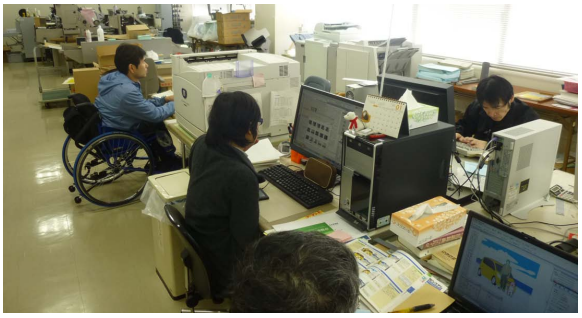
4月から新規事業スタート

●全40室が個室の施設入所、ショートステイ

高知ハビリテーリングセンター

●ウェーブでのクリーニング作業

●就労継続支援B型。印刷科、前段階のPCでのデザイン等の作業も



●就労継続支援B型。足や片手が不自由でも軽作業の仕事

●就労継続支援B型。パン工房科にてパンを製造し、販売

●就労継続支援B型。農芸科の他にもクリーニング科や印刷科、パン工房科、軽作業科、リサイクル科がある

●退院後の社会復帰に向けた県内唯一の機能訓練事業所

● 医療今昔物語 ● 消化器内科 2

C型慢性肝炎（後編）

近森病院消化器内科
主任部長　榮枝　弘司

難治例に対する著効率の向上

2006年にIFNの作用を増強する経口剤リバビリンと週1回のペグインターフェロン（PegIFN）の2剤併用療法（48週間）が認可され、難治例（遺伝子型1b、高ウイルス量）でも著効率は約50％に向上し、それ以外での著効率も約80％になりました。

2011年11月プロテアーゼ阻害剤と呼ばれる直接ウイルス増殖を抑える薬剤とPegIFN・リバビリンとの3剤併用療法（24週間）が認可され、難治例でも70％以上が治癒するようになりました。ただし貧血、皮疹などが高頻度であり、厳重な観察が必要です。

この治療でウイルスが消失するかどうかは、治療前にある程度予測が可能になっています。

人間の遺伝子のなかでIL28Bといわれる場所の遺伝子に、IFNで治りやすい遺伝子（TT）と治りにくい遺伝子（TG or GG）があり、またウイルスの遺伝子の核の部分の70番目（core 70）が、野生株か変異株によっても効果が異なります。

この人間の遺伝子（IL28B）とウイルスの遺伝子（core 70）変異の有無を組み合わせると治療効果が予測でき、TTでcore70が野生株なら、約85％が治癒します。

但しこの検査は保険が効かないのが問題点です。更に副作用の少ないプロテアーゼ阻害剤との3剤併用療法も臨床試験されており、順調なら1年後には使用可能になります。

経口抗ウイルス薬の開発

IFNは副作用も多く、IFNを使わず複数の経口薬だけでC型肝炎を治療する臨床試験もいくつか進行中で、2012年の欧州および米国肝臓学会では、85％以上の著効率が報告されています。

日本のC型肝炎患者さんは高齢化しており、副作用が少なく鬱病などIFNが使えない患者さんにも投与できることから、非常に期待されており、3～4年後には使用可能になると予想されています。

治癒することのなかったC型慢性肝炎が、20年前のIFNの登場により治癒可能な疾患となり、さらに数年後には85％以上が治癒する薬剤が登場します。

以前は画一的な治療法でしたが、治療効果を左右する因子も判明し、治療法の選択肢も多くなることから、今後は個々の患者さんに合わせて高率にHCVを排除できるよう、最適な治療時期や治療薬の組み合わせを考えることが求められ、C型肝炎治療に携わる医師にとって真に専門性を問われる時代となってきています。

さかえだ　ひろし

2月の歳時記

リューココリネ

近森病院救命救急センター
救急救命士　藤中　奈美

花茎を伸ばし、星形の花を咲かせるリューココリネという花があります。藤紫色をしており、甘い芳香を漂わせます。この花をみるだけで心がぽっと温かくなります。また、花言葉に「温かい心」とあります。人と人が助け合う日々の中で、「温かい心」をもって生活することが大切なことだと思わせる花だと思います。

ふじなか　なみ

絵・総務課
広報担当
公文幸子

―― 私の流儀 ―― 4

”型”を身につける

近森病院神経内科
主任部長
山﨑（やまさき） 正博（まさひろ）

“型”と聞くと何を思い浮かべますか？　柔道や剣道など武道や華道、茶道をやっている人には分かるでしょう。勝つためのあるいは奥ゆかしい体のかたち、と言って良いと思います。

あるいは前回の“習慣”が具体的な形として現れたのが“型”と思います。武道は型の習得のために練習を繰り返す、と言っても良いと思います。同じことを繰り返して覚えることにより型が身につき、反射的に行動できるようになるわけです。

医療安全活動を行っていると“型”を身に付けることがいかに大切か実感されます。例えば点滴を行っている患者では確認する項目がいくらあると思いますか。残量、流量、点滴ラインの接続部、刺入部、といった各ポイントを順序よく確認していくわけですが型ができていると反射的にもれなくチェックできます。運転手が声を出して指差し確認をしているのを見たことがありますね。

医療界でもチェック項目の指差し確認は推奨されますが実践されません。恥ずかしい、と言うのがいちばんの理由のようです。運輸部門や原子力部門など事故発生時には致命的になる業種では確認が励行されています。インシデントの要因分析では確認不足がいちばんです。

確認の“型”が身につけば報告数は随分減ると思います。現場作業の多い医療界ではいろいろな型を身につけることが一番大切なことと思います。

看護部 キラリと光る看護 part2

老人看護を一緒に考えませんか

近森病院
老人看護専門看護師長　岡本 充子

2002年に老人看護専門看護師の認定を受け、早くも10年が経過し、2回目の認定更新（5年毎に更新審査）の合格通知をいただきました。これまで高齢者を対象に看護を提供しているから老人看護ではなく、高齢者のことを理解し高齢者に相応しい看護を提供してこそ老人看護になるということを常に念頭におき、患者から学ぶ姿勢をもち、患者やその家族との出会いを大切にしながら看護をしてきました。超高齢社会を迎えていますが、高齢者看護はどうあるべきか明確なものは確立されておらず、私自身まだまだ自己研鑽し学びを深めていかないといけないと思っています。

そうした自己研鑽の場のひとつに、毎月、第3金曜日12時15分から開催している“老人看護を学ぼう”があります。この研修は、少人数の参加者に対して高齢者看護に関してミニレクチャーを行い、その後みんなで高齢者看護についてディスカッションをするという形式になっています。老人看護においては、高齢者を知ろうとする姿勢が重要であり、この研修で参加者それぞれが自身の体験を通して感じたことや考えていることを自由に語り合うことで、参加者だけでなく私自身、高齢者のみかたが広がってきていると思います。いろいろな気づきをくれるこの研修は、目の前にいる高齢者の一側面をみて、きっとこうだろうと決めつけるのではなく、多方面から高齢者のことをみる視点を増やしてくれ、私にとっても意義がある研修となっています。

お昼の時間なので、お弁当持参で気軽に参加できますので、“老人看護を学ぼう”に参加して一緒に高齢者看護に関する実践知を深めていきませんか。　おかもと　じゅんこ

ハッスル研修医
もうすぐ1年が経ちます

初期研修医　井上 薪

はじめまして。初期研修医1年目の井上薪です。いつも病棟などでお世話になっています。もうすぐ研修を始めて1年が経ちます。去年の今頃はまさに国試の追い込みの時期だったと思うと、つくづく日が経つのは早いなぁと思います。ここで軽く自己紹介をすると、長所は前向きなところ、短所は前向き過ぎるところの成人男性です。ちなみに趣味は釣りと茶道です。

さて話は変わりますが、みなさんは『星の王子様』という本をご存じでしょうか？僕はこの本が好きで時折読んでいます。1度は耳にしたことがあるかもしれませんが、この本には「たいせつなものは目に見えない」という名言があります。この1年、様々な職種の方が集う近森病院にいることで、本当に医療はたくさんの人の思いやりの上で成り立っているのだと改めて感じました。僕もそのような環境の中で研修することで、勉強面だけでなく、精神面も学んでいきたいと思います。これからもご指導のほどよろしくお願いします。　いのうえ　しん

小僧が旗を振りながら

近 森　正 幸

最近変わったなぁと痛感することが多い。お正月にしても特別なことはしないし、街を歩いてもほとんどの人が普段着で、晴れ着のおしゃれをしている人もいなくなった。

結婚式や葬式もずいぶん変わってきた。結婚式は友人など親しい人だけで、仲人も義理で呼ぶ招待客もいない。私などもすっかり呼ばれなくなった。葬式は身内だけでやるケースが多くなっている。日本の社会は、ある日気がつくとクルッと様変わりしていて驚かされる。

人の死にしても、ある病気に罹って急に悪くなる場合と、全身がしだいに衰弱して死に至る場合とは明らかに違うように思う。お年寄りがだんだん食べられなくなって、寝込むようになり、呼吸が弱り自然に死を迎えるようになる。

病気に罹れば、治せるものなら、出来る限りのことをして治さなければならないが、自然に衰弱している場合は、食べられないからといって鼻からチューブを入れたり、胃瘻から強制的に栄養を送ることは、好ましくない。

家族の差し出す一杯のスプーンで少しでも口から食べて最期を迎える方が、尊厳ある人間らしい平穏な死ではないかと思う。いずれ近いうちに、終末期医療が大きく変わる時代になるのではないか。

日本の社会がクルッと変わるさまは、小僧が旗を振って「世の中はこんなに変わるぞ～」と、叫びながら道を走っているように思えてならない。

理事長・ちかもり　まさゆき

出張報告

◉ 感染管理認定看護師教育課程研修報告 ◉

近森病院の良さも再認識

近森病院５Ｂ病棟
シニア看護師長　近森　幹子

平成24年６月１日から11月30日の６カ月にわたり、東京都武蔵野市にある日本赤十字看護大学看護実践・教育・研究フロンティアセンター感染管理認定看護師教育課程で研修を受けました。

この研修センターでは、感染管理、糖尿病看護、認知症看護、慢性呼吸器疾患看護コースがあり、各コースは30名ずつ全国から集まった仲間が研修を受けました。

感染管理コースは、関東圏を中心に北海道から鹿児島までの仲間が集まりました。四国からは私だけの研修参加でしたが全国の仲間と辛くも楽しい研修生活を送りました。

看護管理や看護倫理、薬理学など全コース共通科目では自分の看護実践、病棟看護管理を振り返り見つめなおす機会となりこれまでの看護管理の意味と自分自身に不足していた管理の視点を学ぶことができました。また、専門科目では、これまでの感染管理の理解、エビデンスや最新の感染管理の考え方を学ぶここができました。

各科目はすべてレポート提出と試験による合格判定があり、グループカンファレンスも多く睡眠時間を削り、同期の仲間と勉強する日々でした。また、臨地演習実習では、栃木県の羽賀赤十字病院に１カ月間お世話になり、多くを学ばせていただきました。

実習病院の感染管理の他、近森病院との経営方法や看護管理方法等の違いなどを知ることができ貴重な体験ができました。仕事をしているときには気付かなかった近森病院の医療に取り組む姿勢や職員の明るさや風土など、近森病院の良さも再認識することができました。この研修を終えると認定看護師審査試験の受験資格を得ることができます。この審査に合格しなければ認定看護師の認定登録となりません。

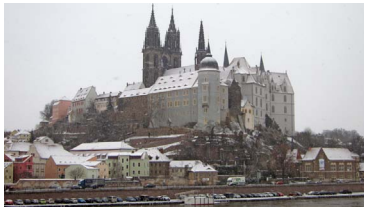
認定審査判定もかなり厳しい審査になりますが、さらに学習をすすめ認定審査に臨みたいと思います。

ちかもり　みきこ

▲お世話になった講師の先生方と、仲間に囲まれて。前列向かって左から二人目が筆者

職員旅行

ドイツ旅行２班、ドイツの歴史や食を満喫した１週間でした。



乞！熱烈応援

バランスを大切に

社会福祉法人ファミーユ高知
事務長　川添　荘平

昨年の12月16日付けで「社会福祉法人ファミーユ高知」の事務長の辞令を受けました。

本法人は今年４月をもって近森理事長の下、７年目を迎えようとしています。まだ７年目ではなく、すでに７年目であるということを強く意識しながら、日々の業務に努めて参りたいと思います。

また、運営面に関して「義に過ぐれば固くなる。仁に過ぐれば弱くなる」という先人の言葉を参考に、双方のバランスを大切にしていきたいと思います。今後とも、皆さまのご支援、ご協力をお願いします。

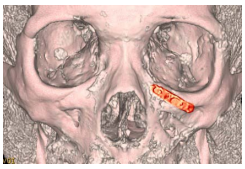
かわぞえ　そうへい

ザ・RINSHO 8 画像機器の今昔 3

CT 装置（その 2）

近森病院画像診断センター
診療放射線技師長　髙橋 宏幸

左上はラクトソープ。右は股関節。



③

①

左はブレ補正前
右がはブレを補正

②

近森病院の CT は胸部から骨盤まで 60cm の範囲を 5 秒以内で撮影可能な 64 列 CT が 2 台と 16 列 CT1 台、計 3 台の装置が動いています。現在 320 列 CT が出ていますが、撮影時間は数秒しか変わらず、検査時間は同じと考えています。

当院で特筆することを三つ挙げると、

① 最適な線量と高画像
② 処理ソフト
③ 画像処理技術

です。①の最適な線量と高画質では、体の大きさに応じて X 線量が増減するのはもちろん、従来と同じ画質でよければ半分の X 線量でよい方式が初めてこの CT に採用されました。これによって体と金属のように極端な X 線吸収差がある箇所も高画像を得ることができます。②の処理ソフトは、昨年 10 月より冠動脈 CT 用に予想外の動きがあっても処理をするとブレが少ない画像が得られる最新ソフトになりました。③の画像処理技術は、骨と同化して写らないとされていた顔面骨折などで使われる生体吸収性のプレートも 3D 画像化しました。

このように、近森病院では装置とソフト、技術力のバランスが常に成り立っていますから、良好な画像提供が可能となっています。次回は MRI です。

たかはし　ひろゆき

お知らせ　医療従事者対象

◆第 107 回地域医療講演会
「現代医学の病名・病態から
漢方薬を Choice する
～明日からすぐ使える漢方講座～」
十全総合病院内科医長　浅羽宏一先生
日時：平成 25 年 2 月 19 日（火）
18：30 ～ 20：30
（1 月 15 日より変更されました）
会場：近森病院管理棟 3 階会議室 1

◆第 108 回地域医療講演会
医療安全セミナー
①「認知症患者への倫理的配慮」
近森病院老人看護専門看護師
看護師長　岡本充子
②「不穏患者を対応した
スタッフへのストレスケアについて」
近森病院第二分院うつ看護認定看護師
看護師長　岡村邦弘
③「不穏状態へのアセスメントと
その時一人でできること」
医療法人精華園海辺の杜ホスピタル
看護部（CVPPP インストラクター）
【講師】濱口 大介氏
【実技指導】安岡峰之氏、安並誠氏、
矢野晴士氏、門田泰武氏
【応援】近森病院第二分院
看護部 CVPPP トレーナー
企画：近森病院第二分院
医療安全委員会
日時：平成 25 年 3 月 9 日（土）
13:30 ～ 16:00
会場：管理棟 3 階会議室

院外エッセイ

手間のかかる手仕事で、連綿と織り継ぐ女性たち

土佐市中島老人クラブ「げんき会」会長　大﨑大太郎

1931 年 1 月 22 日、神谷生まれ。42 年 7 ヵ月の教員生活を経て、須崎の教育相談所長を 10 年。土佐市社会福祉協議会で副会長、会長を二期 6 年、民生委員を 12 年などボランティアに精出す毎日

楮（こうぞ）の樹皮から糸をつくり布を織るという記事を新聞で読み、「紙ではなく布を織る」ということに驚きを覚えた。

そこで昨秋の一日、クラブ一行 19 人は別府峡経由で那賀町木頭の阿波太布（たふ）を織っている「太布庵（たふあん）」を訪ねた。

会長さんが古代布作品を前に制作工程を詳しく説明してくださった。

①灰汁（あく）で煮た樹皮を一昼夜流水に晒し、日陰に広げ、凍らせながら二昼夜ほど置き竿で乾かし叩いたり踏んだりして柔らかくする。②2、3 ミリに裂く。③末の部分を二つに割り元の部分を挟んで縒（よ）って一本に繋ぐ。それを糸車に掛け、回して紡ぎ、乾かないうちに、かせ車に掛け、必要な長さにする。④かせ車から外した糸を灰汁で煮て、すぐ引き揚げる。⑤それを谷川で二人が組になって洗い、水を絞る。これに米ぬかをまぶし、張力を加えながら一昼夜乾燥させ、これを糸枠に巻く。これでやっと糸の仕上がり。⑥縦糸の準備をして織り機にセットし横糸を通し、左右交互に刺子を入れ織り進める。

私たちは③と⑥の工程を詳しく見せてもらったが、繊維の糸切れの末部分と元部分を一本に繋ぐ作業など、あまりにも細かく、気の遠くなるような指先仕事で、感心させられること頻（しき）り。毎日を元気に過ごせる秘訣を学んだ。

布に織る作業は 1 時間に僅か 3、4 センチしか進めないという。こうしてやっとのことで織り上げた古代布は丈夫で裂けないため実用衣料として使われてきた。しかし肌触りの点などから幕末辺りに綿織物が普及し始めると、衣料としての役割を終えてしまう。いまは穀物を入れる袋や手提げ袋、暖簾（のれん）などに用いられることが多いそうだ。

昔は太布のような布は各地の山村で織られており特に祖谷と木頭では盛んだったようだが、祖谷が途絶してからも木頭地区では織り続けてきたようである。明治期には各家庭の女性たちが織った太布の総数は年間 2 千反といわれたが、昭和 50 年代に入ると家庭のものは途絶し、老人会を母体に発足した伝承会に引き継がれているという。昨年は 1 反の生産量だったそうだ。

木頭の僅かな女性たちの手仕事として頑（かたく）なに織り継がれていることに安堵感を覚え、感動頻（しき）りだったが、このように手仕事が引き継がれていることをもっと大勢に知ってもらいたいものだ。

リレーエッセイ

飲み物からきれいに

近森病院第二分院
秘書課
清水　多得子

毎朝飲むグレープフルーツと小松菜、乳製品の簡単ジュース

健康がとりえだった私が昨年の夏突然体調を崩し仕事をお休みさせていただきました。このことをきっかけに身体のために食べ物から変えていこうと思い始めた一つが、毎朝の果物や野菜を使ったジュースです。性格上まめではない私が続いているこの朝のジュースは中身もシンプルで作り方もミキサーのスイッチを ON するだけ。

旬のものなどいくつかの具材を一緒に入れていろんな味を楽しんでいます。その中でも私が一番気に入っているのが、グレープフルーツと小松菜、乳製品の簡単ジュースです。酸味の強いグレープフルーツは甘すぎず飲みやすく、乳製品の量によってどろどろとデザートのようにもなり、いろいろな濃さにアレンジして楽しんでいます。

そろそろ半年続いたので今度は何をしようかと考えているのですが、先日知り合いより借りた本にリンパマッサージの仕方が載っていました。今度は簡単にできるリンパマッサージにチャレンジをしていこうかと考えています。身体は大切だと改めて感じさせられる今日この頃です。

しみず　たえこ

CCC（Chikamori Challenge Circle）の活動

近森病院地域医療連携室
診療支援部医事課　松本 圭司

昨年暮れ、36 名の参加を得て、閉店間際のボールジャンボで思いっ切り楽しみました

社会医療法人近森会の医事課を中心としたサークルを作って 1 年半が経ちました。多職種に方々にご参加いただき、年末のボーリング大会は 36 名の参加と盛り上がりました。

10 月は、大豊町の「ゆとりすとパークおおとよ」での BBQ へ 8 部署 33 名参加。コテージを借りてサークル初の宿泊企画で、楽しい時間を過ごせました。

その他毎月、色々なスポーツも行っています。今後も色々な企画を考え、職種の域を越えた交流をしていきたいと考えています。

職員で参加希望の方はお気軽に声をかけてください。お待ちしています

まつもと　けいし

● 認証機関のマーク ●

エコセール認証
AB マーク認証
デメター認証

エコセール認証とは、フランスに本社をおく世界最大級のオーガニック製品認証団体で、世界 70 カ国以上が加盟しています。EU 諸国ではオーガニック製品に関する法律が施行されており、認証には品質は肥料だけでなく、土壌検査や集荷場所、保管場所、種子管理から広告物まで多岐にわたりチェックが必要とされます。これは日本の JAS と同等の認定が証明されています。

AB マークとは、Agriculture Biologiquos の略で、フランス政府の厳しい基準をクリアした、栽培から商品加工に至るすべての工程で、添加物などを一切含まない食品にのみ使用することが許されています。

デメター認証は、シュタイナー博士が提唱した「ビオディナミ農法」の作物や製品に与えられる認証です。ビオディナミ農法で栽培された農産物を用い、加工、保存、包装、流通に至るまで、細かい基準があります。環境保護、安全性、農産物の生命力を最大限に生かす方法であるかどうかまで問われ、厳しい審査をパスしなくてはなりません。そのため、世界でも基準が厳しいオーガニック認証の一つともいわれています。

（記・鬼田）

ワイン講座 ● 8

自然なワイン

ヴァルポリチェッラ・クラッシコ・スペリオーレ
生産者・ラルコ／イタリア、ヴェネト州コメント
新たに自分の世界を表現しはじめた若い醸造家のワイン。複雑さと純粋さ、そしてエレガンスを備えたスタイル。

近年、「無農薬ワイン、有機ワイン、自然派のワイン……を下さい」と、健康志向の方が多くなってきています。ラベルを見て、その類のワインを探すのは、ラベルに表示された、公的機関の認証のマークを頼りに探すしか方法はありません。

しかし、公的機関によって分析値でコントロールされた規定は、ワインの品質を証明するものではなく、また、認証をとりながら、培養酵母で温度コントロールをして発酵し、酸化防止剤を多用する造り方は、一般のワインとなんら変りありません。少なからずの本末転倒の生産者が居る事は残念でなりません。

自らの意思で認証を取らない事が多いヴァン・ナチュール（自然なワイン）の造り手は、権威や公的機関に従属しない生き方を選び、生産者自身の考え方と、出来上がったワインの味わいと質が、なによりも肝要だと考えています。

優れた造り手は、「ワインは畑で造るもの。セラーでは可能なだけ手を加えず、ゆっくりと見守るだけ」と言います。

鬼田知明（有限会社鬼田酒店代表）

第 106 回地域医療講演会

SCU（脳卒中ケアユニット）開設記念　特別講演会

▲講師の好本裕平群馬大学脳神経外科教授

近森病院脳神経外科
部長　高橋 潔

さる 1 月 17 日新阪急ホテルで上記講演会を開催しました。厚生労働省の特別共同指導の日と重なりましたが、院外からも多くの参加が得られ 115 名の参加でした。

前半はセンター長の山﨑正博先生から SCU の実績・紹介が行われ、後半では群馬大学脳神経外科の好本裕平教授をお迎えして最新の脳卒中治療についてお話しを伺いました。

当日は脳卒中診療に実際に携わっている多職種の参加でしたがわかりやすく最先端の脳梗塞治療を勉強することができました。

SCU も半年あまり、順調に経過してきました。早期から多職種による集学的治療で誤嚥性肺炎の減少や在院日数の短縮など成果が上がってきているように感じています。

高知県の脳卒中治療の先端をいけるようますます頑張る決意を新たにしました。

たかはしきよし

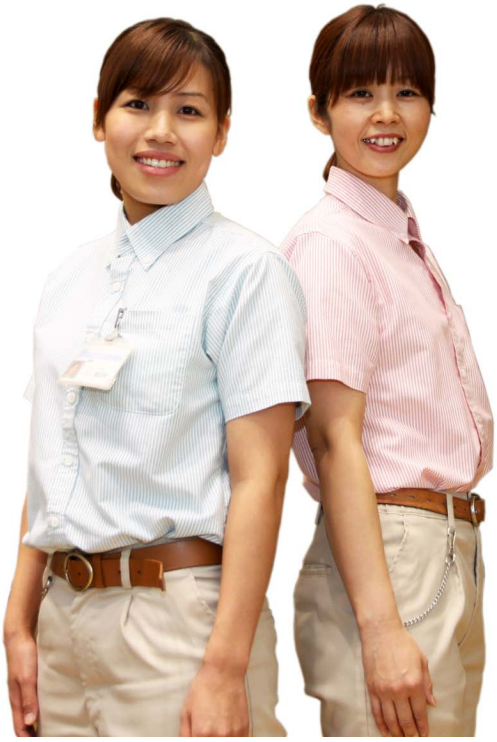
健康保険組合　親子ダンス教室

「健康づくり教室」初の試みとして「親子ダンス教室」を開催しました。先生の指導を受けながら、親子でスキンシップ＆コミュニケーションを楽しみました！　次回は 3 月 22 日（金）開催予定です。詳細はサイボウズ掲示板にて 2 月上旬ごろご案内します。

▲講師の玉木晶先生

メディカルスタッフ・ワークウエア 8

モデル・小川真奈美さん（左）と竹田香さん



●精神科グループユニフォーム●

現在の精神科グループのユニフォームは平成 15（2003）年 10 月の第二分院新築完成に合わせ、半袖カッターシャツ（4 色）とチノパンツの組み合わせにリニューアルしました。

それまでのポロシャツとジャージの組み合わせから「爽やかで機能的なユニフォーム」「外に出かけられる」をコンセプトに職員アンケートなどを重ねました。看護部と作業療法室、訪問看護ラポールとデイケアスタッフが使用しています。

白衣を脱ぎトレーナーに変わったのは 25 年以上前で精神障がい者社会復帰の始まりの時期でした。その時々のニードに合わせてユニフォームは変わってきました。機能的なだけでなくスマートなユニフォームで働く「イメージ UP」も大事です。9 年経過しました今、そろそろリニューアルを考えています。

近森病院第二分院事務長　和田廣政

初級編　「第２回」FIM 講習会を行います。

日　時　● 2013 年 5 月 12 日（日）12：30 ～ 16：00
講　師　● 川崎医科大学医学部リハビリテーション科教授
椿原彰夫　先生
近森リハビリテーション病院リハビリテーション科科長
和田恵美子　他
内　容　● 日常生活機能評価の指標であるＦＩＭについてわかりやすく説明します。（去年と同様の内容です）
会　場　● 社会医療法人近森会　管理棟３階
高知県高知市北本町１丁目１－２８
定　員　● 200 名
受講料　● 4000 円（資料代込）
※四国で唯一の講習会です。ぜひご参加ください

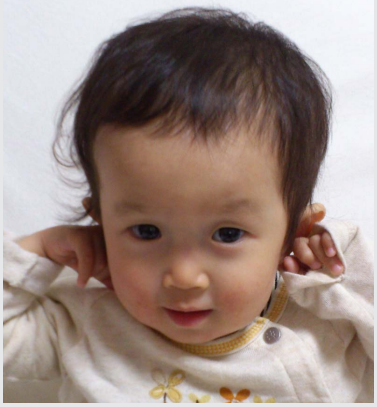
● 講習会は医療従事者向けです ●

お申し込みは近森会のホームページから。

この本に準拠した内容で開催します。

私の趣味　娘

近森病院
言語療法科主任
井上　浩明



趣味というには語弊がありますが、楽しくて仕方がないという点で、今の趣味は間違いなく娘です。普通にみればただの子育てですが、娘との時間は至福の時です。昔は子供を相手にするのは苦手でしたが、我が子になればこんなに溺愛するとは思いませんでした。寝起きの笑顔に溺れ、ご飯を食べる姿に溺れ、散歩をして溺れ、寝顔をみて溺れ……毎日愛に溺れまくりです。妻のお腹にいる時、女の子と判明した時点で嫁には出さないと誓っています。けれど、幸せのためにいつかは花嫁になると思うと、今にも涙が出そうです。とは言いながら、娘のファーストキスは、生後３カ月で栄養科佐藤主任の御子息に奪われました（笑）。

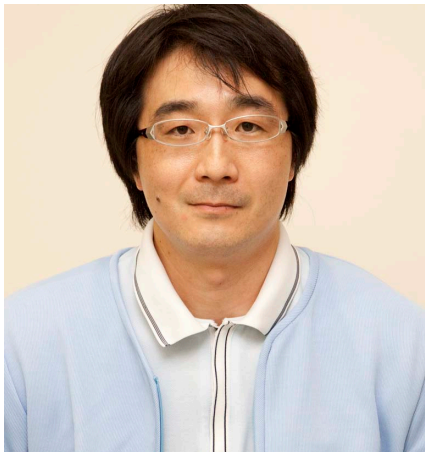
1年間に撮影した娘の写メは1400枚！これからも親バカ、いやバカ親ぶりは続きます。限りない幸せがいつまでも降りそそぎますように・・そう願いながら、今日も娘といっしょに「わ～お！」（子供番組の歌）を歌い踊るパパでした。

いのうえ　こうめい

2013 年近森会グループオフィシャルカメラマンが決定しました。

●近森会グループの行事や講演会などで、写真撮影を担当します●

臨床工学部臨床工学技士　坂本真一



四国管財株式会社ポーター　岡本明才

Chikamori ★ Kitchen 21

フォンダンショコラ

臨床栄養部管理栄養士
主任　内山 里美

もうすぐバレンタインということで、今回はフォンダンショコラをご紹介します。「フォンダン」とはフランス語で「溶ける」という意味。その名の通り、ビターなケーキの中はとろけるチョコレートが詰まっています。チョコレートの主成分、カカオに含まれるポリフェノールには、抗酸化作用の他、血圧低下作用が期待されます。ただし、チョコレートには砂糖もたくさん入っているので食べ過ぎには要注意。もし食べるならカカオ含有率の高いダークチョコレートがおすすめです。

＜材料（1 人分）＞

チョコレート	25g
バター	15g
砂糖	10g
全卵	1/2 個
薄力粉	8g

＜作り方＞

①チョコレートは細かく砕き、バターと一緒に湯せんにかける。
②砂糖、全卵を別のボウルで白っぽくなるまで混ぜ合わせて、①のボウルに加える。
③②にふるった薄力粉を加え、混ぜ合わせる。（混ぜすぎに注意）
　型に流し、180℃のオーブンで約 10 分加熱する。

人物ルポ 276 ● 近森病院第二分院 臨床栄養部 科長 吉田妃佐（ひさ）さん

その場その一瞬が勝負

気持ちも元気になるメニューを！

親戚の叔父ちゃんから、「妃佐はやっぱり言うた通り栄養士になった！」と、大人になっていわれたとき、そういえば子どもの時分に、「栄養士になる！」ときっぱり言っていたことを思い出したそうだ。小学校を卒業する頃までは病気がちで、病室にクラスメートが千羽鶴を折って届けてくれたような記憶が何度かある、という。

病気のために皆と違うメニューを食べなくてはならなかったことがよほどイヤだったのか（笑）、「病気の人も食べられるメニューを開発する！」とか何とか言って、子どもながらに不本意さを感じていたのだろうと、妃佐さんは子ども時代を回想する。

近森会臨床栄養部生え抜き！

短大を出てすぐ栄養士の資格を取ったが、卒業式の前から近森会に勤め始めたため、「近森会スタッフとしての経験が栄養士よりも長い」近森会臨床栄養部生え抜き！である。

最初に配属された分院は透析主体からやがてリハビリテーション病院前身施設に。その後、本院へ異動して急性期を10年、現在は精神科に。病院管理栄養士としての主力業務は給食サービスから臨床での栄養管理へと大きく変貌、「本当に色々な経験ができる」と、今さらながら近森会での数えきれない体験に喜びを感じている風でもある。

門外不出のマル秘の書類

正味25年ほどずっと日記を記している。観た映画の半券から気に入ったワインの記録、昔の『ひろっぱ』に載った栄養科の記事、新聞記事その他、ヘタな小説よりずっと読み応えがありそうだが、むろん「門外不出」のマル秘の重要書類である（笑）。このなかのワインの記録は、ワイン教室に通い始めた辺りから増えるようになった。通い始めるきっかけは近森理事長の話だった。「バブルのとき、選りすぐりの上等な粒ばかりを集めてワインが作られたが、じつは大したことはなかった。熟したもの、未熟なもの、色々なものが混ざってこそ独特の深みが出る」と、こんなような話だったそうだが、「人間は誰でも存在価値がある」と励まされたり、「ワインもチーム力かと想像したり」という、妃佐さん流の発想からワイン教室に通うことにしたのだそうだ。

▼通い始めて6年のワイン教室で、仲良しの内田陽子さんと。「美味しいワインと気持ちのよい方々に出会えて最高です！」

吉田家の家庭の味

美味しいワインは料理の味を高め、ワイン自体もより美味しくなるという相乗効果を味わえるのが楽しみといえるようだが、「素材の味を生かしたもの、旬のものにこだわって料理をする家庭」で育ったという意識が強いという。昨年暮れ、冬至にカボチャがなかったときには「我が家ではそれが大問題になりましたから！（笑）」と、妃佐さんの話にはいつも楽しいオチが付く。サービス精神も旺盛なのだ。

▼病棟で打ち合わせ中のひとコマ

その場、その一瞬が勝負の食

演劇でも音楽でも映画でも、居ながらにして臨場感を味わえる時代だが、「食だけはその場その一瞬のもの。どんな傑作でも、食だけは残せない」、これが食にずっと関わってきて、いっさい退屈しない最大の要因らしい。

職業柄、料理の絵を描く機会が多く、凝り性のためにいつの間にかプロ顔負けのイラストの腕前に成長したが、詩も書く。共同詩集に長年作品を寄せている。派手なことは苦手だというが、コツコツ地道に続けることで大輪の花が咲く、これを見事に実践しているのが妃佐さんの毎日といえるのではないだろうか。

お弁当拝見 11

「料理は自分の原点」

近森病院 臨床工学部
血液浄化チーム 矢野 智行

僕はわりと料理が好きです。この「お弁当拝見」の話が来て、あらためて小さい頃を思い返してみると、お母さんのケーキやお父さんのからあげ、お姉ちゃんの煮物や僕のチャーハンなど家族の得意料理を思い出しました。

実家にいたときは家族全員が台所で調理中なんてこともありました。「家族みんながすすんで料理する」この環境が今の僕をつくってくれたんだと思います。

そんな僕のお弁当に対するこだわりは愛することです。特に力を入れているのが玉子焼きです。火加減に細心の注意を払って丁寧に巻いた僕の玉子焼きを職場の人たちに褒められた時には最高に嬉しいです。もちろん玉子焼きだけでなく、すべてに愛を注いで僕のお弁当は完成します。

お菓子作りも趣味の一つなので、もしひろっぱのコーナーに「スイーツ拝見」が立ち上がれば声をかけて下さい。

やの ともゆき

クリニック探訪

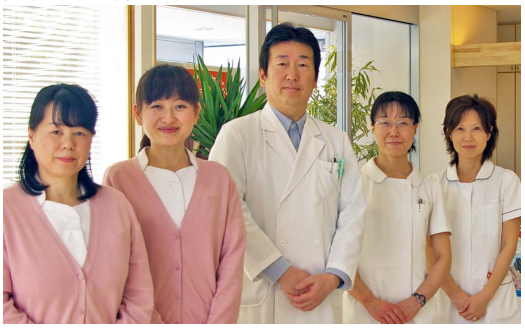
医療法人順医会 **見元クリニック**
Mimoto Clinic

内科、呼吸器内科、アレルギー科

高知市西町 42　〒 780-0925　Tel. 088-855-8123
Fax. 088-855-8125
見元 達朗（S.33.10.4 生）

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9：00～12：30	●	●	●	●	●	●
午後 14：00～18：00	●	●	●	●	●	／

休診日：土曜午後、日曜、祝日



内科全般、さらに呼吸器内科やアレルギー科に力を入れています。高血圧症、糖尿病、脂質異常症、痛風などの生活習慣病を始め、喘息や花粉症などの治療、慢性の咳や息切れの診療、保険適用の禁煙外来、睡眠時無呼吸チェックも行います。往診もご相談ください。

編集室通信

我が家の節分は「柊鰯を玄関に飾り、豆まきをし、年の数だけ豆を食べる」でしたが、大学時代大阪で過ごし、恵方巻きを食べるようになりました。恵方巻き文化を知らなかった私のために、友人たちが集まって、それぞれの家庭に恵方巻きの作法をレクチャーしてくれ、その年の恵方を見て、恵方巻きを食べたことがあります。もう 10 年以上前のことですが、節分が来ると楽しかったあの日のことを思い出します。（陽）

2012 年 12 月の診療数　システム管理室

近森会グループ	
外来患者数	17,459 人
新入院患者数	805 人
退院患者数	859 人
近森病院	
平均在院日数	14.46 日
地域医療支援病院紹介率	96.85 %
救急車搬入件数	435 件
うち入院件数	235 件
手術件数	396 件
うち手術室実施	246 件
→うち全身麻酔件数	158 件

● 平成 24 年 12 月度県外出張件数 ●
件数 45 件延べ人数 98 人

図書室便り（2012 年 12 月受入分）

・肝機能低下時の薬剤使用ガイドブック／矢後和夫（他編集）
・NSAIDs の選び方・使い方ハンドブック／佐野統（編集）
・健康食品・サプリメント [成分] のすべて　ーナチュラルメディシン・データベースー／日本医師会・日本薬剤師会・日本歯科医師会（総監修）
・改訂版ステロイドの選び方・使い方ハンドブック／山本一彦
・師長のための看護助手医療クラーク協働ハンドブック／瀬戸僚馬
・基本から学ぶ看護過程と看護診断第 7 版／ロザリンダ・アルファロールフィーヴァ（著）、本郷久美子（監訳）
・ゴードン博士の看護診断アセスメント指針よくわかる機能的健康パターン／マージョリー・ゴードン (著)、江川隆子（監訳）
・ゴードン看護診断マニュアル　原書第 11 版／マージョリー・ゴードン (著)、看護アセスメント研究会（訳）
・改訂版実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイドーヘンダーソン、ゴードン、NANDA の枠組みによるー／任和子（編著）
・査定・返戻対策と効果的な症状詳記　改訂 5 版／桜井雅彦
・病院新入職員基礎講座／佐合茂樹

《別冊・増刊号》
・別冊医学のあゆみ　肺高血圧症診療の進歩／中西宣文（編集）
・NHK きょうの健康別冊　こり・痛みを自分で解消！　肩すっきり体操／伊藤博元（監修）
・Nursing BUSINESS 2012 年冬季増刊看護師長のための「病院経営」「経営数値」パーフェクトマスター BOOK／下吹越一孝（監修・執筆）